

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 21 号	氏名	劉 中誠
学位審査委員	主 査	李 桃生	
	副 査	江石 清行	
	副 査	宮崎 泰司	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、肺異種移植の急性拒絶反応における FUT-175 投与による肺機能の保護効果と、その機構を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 本研究において、実際の肺異種移植の代用モデルとして、Lewis ラットの血液（レシピエント）を Hartley モルモットの肺（ドナー）に灌流する <i>in vitro</i> のアプローチを用いている。さらに、補体活性、肺機能、肺組織の形態学的評価により、FUT-175 投与（灌流液に添加）による肺機能の保護効果を評価し、その機構についても検討している。それらの研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記の研究手法で解析した結果、FUT-175 投与は補体活性の抑制作用などにより、異種移植肺の機能に有意な保護効果をもたらすことを明らかにしており、今後の異種臓器移植の開発に貢献することが期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は異種間臓器移植研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			